

ウスイロヒョウモンモドキ

Melitaea protomedía

兵庫県：Aランク

環境省：絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

種の概要

前翅長20～26mm程度。翅の地色は橙黄色で、前後翅ともに黒斑を散布する。後翅裏面は黄白色で、橙黄色から白色の斑紋を散布する。山地の湿性草地に生息し、幼虫はオミナエシ、カノコソウなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に見られる。オカトラノオなどで吸蜜する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州

県内分布記録

加東市、神河町、宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○	○	○



特記事項

県内で30箇所の生息地が知られていた。佐用町を中心とした県南西部の生息地では1970年代にみられなくなり、1990年代に確認されたのは北部但馬地域の6箇所、現在はハチ高原周辺の2箇所となった。南部では農地周辺や明るい二次林に点在していた草原環境が、農業構造の変化などで徐々に消滅したり孤立化した。北部はスキー場コースの改変、火入れ、草刈り作業の中止などにより減少した。

保護上の留意点

各種の調査、草刈りやオミナエシの植栽など生息環境の保全・拡大を進めている。